

## 「平成28年度 新採用看護職員研修」のご紹介

看護部 看護教育担当課長 **山谷 禎子**

今年度の新採用看護職員は 71 名（新卒看護師 46 名、既卒看護師 25 名）です。

4月1日・4日・5日の3日間「新採用看護職員研修」を受け、市立札幌病院の看護職員としての立場や役割を理解しました。2週目からは「看護の目的と根拠を考え、安全・安楽で安心できる看護技術を学ぶ」ことを目的に、看護技術研修を実施しました。研修生が主体的に学べるようにシミュレーション研修を企画し、午前中は技術トレーニング、午後からは実際の場面を想定して看護を提供するタスクトレーニングを行いました。患者役、看護師役、観察者を体験することで活発な意見交換ができ、よい看護を実践するために必要なことを考えることができました。特に患者役の体験では、説明の仕方や内容、声のトーンや目線、羞恥心への配慮な

ど多くの気づきがありました。研修項目は「感染対策」「採血」「静脈内点滴」「体位変換」「口腔ケア」等 14 項目です。静脈内点滴では、シミュレーターを使用して留置針の穿刺から固定（Ω止め）などマニュアルを確認しながら真剣に取り組んでいました。

研修の学びを活かして、一人ひとりが看護部理念である「科学する眼」と「確かな技術」で心の通う看護が提供できることを期待しています。新採用看護職員は入職して 2 カ月が経過しました。部署では先輩看護師の指導を受けながら安全・安楽な看護を目指して頑張っています。新卒看護師は、7月に屋外で仲間と思いを共有し、心も体もリフレッシュして明日から頑張る意欲に繋がるように「リフレッシュ研修」を予定しています。



平成 28 年度の新採用看護技術研修の風景

## 「初期臨床研修医オリエンテーション」報告

臨床研修センター長 **甲谷 哲郎**

「初期臨床研修医オリエンテーション」は、4月1日（金）から 9 日（土）まで行われました。対象となったのは、2016 年 4 月 1 日から当院で初期臨床研修をスタートした 1 年目研修医 13 名（医科：12 名、歯科：1 名）です。さらに北大病院と札幌医大病院との交流プログラムで 2 年目を当院で研修する 3 名も部分的に参加しました。今年度は、講義形式のいわゆる座学研修は極力少なくして、実習など参加型主体のプログラムとしました。「院内探検（各部署訪問）」、「感染防止対策」、「採血・点滴実習」、「消毒・ドレーピング実習」、「縫合実習」、「外科手洗い実習」、「電子カルテ操作実習」、「医療制度」、「クリニカルパス」、「細菌実習」、「輸血実習」、「看護シャドウイング（深夜・日勤帯病棟看護体験実習）」、「リスクマネジメント」、「災害・トリアージ実習」、「医療機器操作実習」、「接遇・コミュニケーション」、「メンタルヘルス」、など実践的な実習・講義が多数ありました。熱心にご指導をいただきました病院スタッフの皆様にご場をお借りして心より御礼申し上げます。また、「臨床研修センター診療」、「夜間再来診察室・当直、臨時入院」、「説明



各種実技実習の風景

と同意、「重症救急患者・多発外傷患者への処置実習」の説明に際しては、2 年目初期研修医・後期研修医の皆さんから、自らの経験を活かし、ロールプレイを交えた参加体験実習でご指導いただき、大変有意義なものとなりました。最終日には、ICLS 講習会で救急蘇生法を体験し、オリエンテーションを締めくくりました。今回のオリエンテーションは、まさに「病院全体で研修医を育てる」という当院のポリシーが実践された場であったと思います。初期研修医の皆さんの今後の大いなる活躍を期待しています。